

MAUチャー diary

わくわくフェスタ

2016. 11. 20(日)

事前準備



商店街の方々、集まって会議中!印刷の仕事の方は広報の印刷に、装飾の仕事の方は規格について詳しい。皆さんそれぞれの専門分野で活躍していました。会議中は冗談をいう事も!



わくわくフェスタ進行役の土屋さんから一言。「かなり沢山の子ども達が来てくれて良かったです。来年は今までにない新しい事をやりたいです。」

ワークショップの作品づくり中皆さん真剣です

当日workshop

「未来の武蔵野市を描こう」をテーマに、イラストコンテストを行いました。みんなわいわい楽しそう!



下の3作品は、入賞した作品です。



1位

同率2位

廃棄一輪車や、いらなくなった瓶の底など、いろいろなものに絵の具をつけて、自分だけのエコバッグ完成!! 普段なかなかできない体験、スタッフの私も楽しめました。



グッズ紹介

2016 年のグッズです。MAU チューメンバーの 田塩さん・遠藤さんがデザインしてくれました。



日常に小さな喜びを届けられたらという思いを込め、商店街のぬくもりを意識してデザインしました。(by 田塩)

子ども向けに可愛らしさを意識し、デザインしました。(by 遠藤) わくわくフェスタで MAU ちゅーの中心となってくれた遠藤さんから一言。「準備など大変でしたが、とても充実したわくわくフェスタでした」

MAUチューdiaryでは、MAUチューが携わったイベントをピックアップして紹介

わくわくフェスタとは??

以前は「ふれあいまつりとして行っていた」地域イベントを商店街の若手の方々が引き継ぎ 2014 年から始まった。対象は小学生。場所を変えながら 11 月下旬に行っている。MAU チューも開催当初からイベント企画に参加している。

商店街 NOW

武蔵野消防署に見学に行ってきました!

新しい建物はどこかオフィスを思わせるガラス張り、消防署とは思えないカッコよさ。広い訓練場で訓練する隊員さんとてもカッコ良かったです!

むさしの消防フェスタ2017 ~ 知ってほしい、防災のこと、私たちのこと ~

日時 | 平成 29 年 3 月 5 日(日) AM10:00-PM3:00

場所 | 武蔵野消防署(武蔵野市吉祥寺北町4-6-1)

※雨天の場合は縮小して開催予定です。

東京消防庁に1台しかない双腕重機がやってきて、お子様とのじゃんけん大会が行われます。また、防火防災スタンプラリー達成者にはプレゼントが!

Contents

消防車両展示 | 消防活動訓練・救助隊演技 | なりきり消防士 | 消防実験コーナー(予定) | ミニ消防車 | 防災 Mama-Cafe(予定) | 防火防災スタンプラリー(小学生以下対象) | 非常食配布 & 試食会など

さらに、先着300名の方にむさしのにむちゅー前号で紹介したケーキ屋さん「ティアレ」とコラボした「むさしの消防フェスタ2017 オリジナルクッキー」をプレゼント!



ちまたの

「ちまたの」ってなあに?

2016 年度から MAU ちゅーと EAS で地元のアート・デザインに貢献すべく発足した組織です。もっと武蔵野市のみなさんにアートやデザインを身近に感じてもらえるように、そして、デザインの力で武蔵野市を盛り上げていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

2016 年 実績紹介 -

9月に当フリーペーパー「むさしのにむちゅー」を創刊。それ以外に武蔵野クリーンセンターでのイベントでペットボトルオブジェの制作、軒下フェスタでのライブペインティング、わくわくフェスタでの各種ワークショップ等、様々な形で武蔵野市に関わらせて頂いています。

地元デザイン・アートのお仕事請け負います!

グラフィック、チラシ、ポスター、ロゴ、リノベーション(DIY)、壁画、ディスプレイ、ワークショップ、イベントスタッフ、実地調査 etc...



かたらうんじ
ミラ
ラウンジ
by chimatano

3月18-20日
ちまたのがワークショップイベントを開催します!
詳しくはホームページまで。
<http://mauchu.wixsite.com/home>



発刊月: 2017 年 2 月
発刊元: 武蔵野市中央地区商店連合会
制作: ちまたの
HP: <http://mauchu.wixsite.com/home>
Mail: infochimatanog@gmail.com
※ 当誌に掲載の文章・画像の無断転載・無断使用を禁止します。
制作スタッフ
表紙 / 裏表紙 : 久米
4 コマ制作 : 守本
MAU ちゅー diary : 久米
気になるあの店見よう : 宮入
ちまたの会議室 : 原田
むさしの途中下車の旅 : 宮入
(以上 MAU ちゅー)
監修: 中村(EAS)



・好きなこと:
猫を愛でること。
・できること:
ギター、カクテル作り
・したいこと:
デザインで世界を美しくする。

ちまたのメンバー紹介
NO.2
武蔵野美術大学 3 年
守本 悠一郎



むさしのにむちゅー

Vol. 2

つながる、ひろがる、地域の輪

武蔵野市商店会の協力のもと発行している
ちまたのによる地域情報誌第2弾。

新しい出会い、懐かしい店、
今回は人と街とのつながりをテーマにしました。

今日のむちゅーくん 2



桜まつりは4月2日、市立むさしの市民公園(市役所南側) 武蔵野陸上競技場(市役所東側)及びその周辺に開催予定です。

CONTENTS

1. 4コマ - 今日のむちゅーくん②
2. MAU ちゅー diary わくわくフェスタ
3. 気になるあの店見よう
4. 特集 - ちまたの会議室
5. むさしの途中下車の旅 - 三谷通り編
6. 商店街 NOW - むさしの消防署に行ってきました!
7. ちまたの紹介



気になるあの店 見てみよう

お茶とともにほっとひと息

福田銘茶園

藍色ののれんや土間が昔ながらの味わいを出している三谷通りのお茶屋さん。お茶の違いにも、ちょっとこだわってみたくなるかも。



福田さん

この店は、元々主人の両親が営んでいた染物屋のスペースを譲り受け、長年やってきた茶道を活かして平成22年に日本茶専門店として開業しました。主人の営業する中町店もあります。茶葉のほか、問屋から私が選り仕入れた茶器も扱っていて、店先にある半畳間のディスプレイは染物屋の名残なのですが、毎月そこに違った茶道具を展示しています。通りがけに見て頂けると嬉しいですね。お茶は、産地から直接取り寄せた静岡茶・宇治茶・狭山茶・八女茶、そして新たに加わった鹿児島の知覧茶と合わせて5種類のお茶を中心に販売しています。開店当初からお客さんに人気なのは、静岡茶。入れやすく、飲みやすいのが特徴です。店内では、気軽に試飲もできるので、腰かけてお茶を飲みながらゆっくりお話しいかれるお客さんも多いんですよ。こぢんまりした店内ですが、地域の方々にとっての憩いの場になればと思っています。なお、ここでは500円につき、オリジナルスタンプ1つに加え、500円につき5円のむチュー券も配布しています。近くにお越しの際は是非!

福田さんは、正風流煎茶道の師範の資格をお持ちで、他にもガーデニング、音楽、映画、読書と多趣味。親しみやすい人柄もあり、会話が弾みそう。まさに憩いの場といえるステキなお店だ。



販売概要：お茶・のり
営業時間：11:00～18:00
(日曜・火曜定休)
住所：武蔵野市西久保 2-25-2
連絡先：0422-52-0058
開業年：2010年
店主：福田和子さん

インタビュー：久米・宮入
文責：宮入

安全安心、信頼できる魚屋さん

まるよし魚店

住宅街の中にふと現れたお店。ガラス張りのケースの中には新鮮な魚が並ぶ。ケースの前には、魚のお惣菜が美味しそう。



吉田さん

このお店は昭和24年にオープンし、私は3代目です。オープン当初からずっとここで営業しています。こだわりは、仕入れから仕込み、販売まで、うちで全てやっていることです。毎朝4時にはここを出て、築地市場で仕入れを行います。仕込みは築地から帰ってすぐ行い、煮魚や焼き魚、酢漬け味噌漬など自家製の味をつけた魚を出しています。毎年行っている特別な仕込みは2つあって、一つはお正月用の魚料理です。かずのこやコハダのあわすけなど特別に調理したものをしています。もう1つは7月～9月の暑い時期の生きたウナギの仕込みです。お客さんが頼んだら目の前ですぐ焼いて出せるように、準備しておきます。また、保育園や、老人ホームにも魚をお届けしたりと、地域とのつながりを大切にしています。お客さんに安心安全な魚を届けることを心掛けることはもちろん、周りは住宅地なので、夕方、このお店にとる明りで、少しでも子どもたちの安全も守れたらいいなと思っています。

地元に着しながら新鮮な魚を届けている吉田さん。夏に、うなぎを焼くところを是非見て、味わってみたいものだ。



販売概要：鮮魚
営業時間：10:00～18:30
(日曜・祝日定休)
住所：武蔵野市中野 2-17-8
連絡先：0422-52-3131
開業年：1949年
店主：吉田靖次さん

インタビュー：久米・宮入
文責：久米

パン屋じゃなくてケーキ屋さんですよ、一応ね。

フランス菓子 ロンボワン

レトロな「ロンボワン」の文字がいい雰囲気。一見静かなたたずまいのお店だが、中に入れば、香ばしい香りと色鮮やかなケーキに心躍らされてしまう。



インタビュー：原田・宮入
文責：宮入

阿部さん

私は、ケーキ職人として店を持つのが夢で、師匠の店で修業を積んだのち、35年程前からここでケーキ屋をやっています。パンは、自分で食べるために作り始めたところ、周りの人に好評だったので売り出すようになりました。とはいえ、はじめの頃は中々売れず、ケーキと違い発酵などで時間に追われる点も難しいところでした。けれども、徐々に口コミでお客さんが増え、私自身もパン作りにハマってしまい、今ではパンを買いにいらっしゃるお客さんの方が多くいます(笑)。うまくいかないことがあっても、好きなように楽しくやっているので、作ることを大変に思うことはなかったです。オススメはあえて選ぶなら、ブリオッシュの生地をシロップに漬けた『サバラン』というケーキ。シロップにラム酒を使うお店が多いのですが、独特の風味が強いため、うちではキルシュ(サクラ酒)を使っています。サバランは、昔のケーキ屋さんでは定番だったらしく、よく年配の方から懐かしいといわれます。興味をお持ちの方、ご来店お待ちしております。

店内は入れ替わりお客さんが入る人気ぶり。皆さん口をそろえて「ここはパンがおいしい」と言うが、もちろんケーキも絶品。『サバラン』は甘さより酸味や苦みが少し強く、大人なケーキだった。



販売概要：ケーキ・焼き菓子・パン
営業時間：9:30～20:30
(月曜定休。祝日は営業)
住所：武蔵野市西久保 2-26-12
連絡先：0422-322-2267
開業年：1982年
店主：阿部真佐男さん



お客さんの喜びが頑張りの源

みのわ屋酒店

NTT商店街を外れた小道に入ると、黄色と水色の看板が見えてくる。子どもたちの笑い声と楽しげな会話が聞こえてくる。タイムスリップしたような懐かしい雰囲気。



インタビュー：久米・原田
文責：原田

小平さん

うちは酒店だけど、元来食料品店なので、食料品もたくさん売っています。けれどコンビニと違って、毎朝5時に市場に出かけて商品を仕入れてますので、安くて良い品を売ることができるんです。お酒はほとんど試飲して味を確かめ、自分が本当に美味しいと思ったものしかお客さんにお勧めしません。「昨日飲んだらうまかった」これが一番の売り文句ですね。みのわや酒店で最も力を注いでいるのは、「イベント事業部」です。バーベキューセットを中心とした、樽生ビールの販売、生ビールサーバーの貸し出しなどを行っています。依頼先の参加人数、目的などに合わせて必要な食品の量や道具などを全て揃えてお届けしています。これは普通の大型店などにはないサービスです。イベントごとに細かく記録をとり(左側写真参照)、翌年のお客様へのアドバイスに役立てています。常にいかにしてお客さんにありがたいと思ってもらうかを考え、便利で美味しいものを提供しています。その甲斐あって、リピーターが沢山いるんです(笑)。

お客さんと会話する小平夫妻は本当に楽しそうだった。温もりの沢山詰まったサービスは、そんな交流の中から生まれているのかもしれない。



販売概要：お酒・食料品
営業時間：8:00～21:00
(日曜定休)
住所：武蔵野市西久保 3-9-13
連絡先：0422-51-4583
開業年：1963年
店主：小平裕彦さん

ちまれの会議室

このコーナーでは、地域の住人の方にお集まりいただき、武蔵野市のこと商店街のことなどを日々の生活とあわせてお話しいただきます。今回は、けやきコミュニティセンター(以下コミセン)で子ども向けのイベントの開催などを行っている、小・中学生のお母さん仲間4名(A、B、C、Dさん)にお集まりいただきました。

Q. 武蔵野市に住んでみていかがですか?

- Aさん：土地が平らなので、自転車でもどこでも行けて便利です。雨の日は、ムーバスを使います。1回100円でとても安いですね。
Bさん：私たちの住んでいるところは市役所、体育館、公園、なんでも近くて良い環境が整っています。
Cさん：自治会がないのは珍しいなと思いました。不思議ですね。
A・Dさん：そうですね。近所付き合いは全然ないですね。
Bさん：私はご近所の方にいろいろなものをいただいたり、差し上げたりと結構交流していますね。
Cさん：私はボランティア活動をしている関係でご近所さんと交流があります。

Q. 近くの商店街は利用されますか?

- Cさん：文房具屋さんは、学校指定のノートとか細かく教えてくれるので、すごく助かります。そういうのは地元ならではのですね。でも、お肉屋さんとか八百屋さんとか、以前利用していたところはなくなってしまいました。
A・Dさん：サミットができてからかな...9時から開いてるし、夜も遅くまでやっているしね。
Bさん：地元の商店街を応援したい気持ちはあるんだけど、忙しかったりするとそっちでまとめて買ってしまうんです。

Q. あったらしいなというお店や施設はありますか?

- Aさん：割と朝から活動することがあるので、9時からやってるお店が欲しいです。あと、本屋やパン屋がこの辺にないので、あるといいですね。
Cさん：駐輪場はつけて欲しいです。

Q. どのようなイベントをやってほしいですか?

- Aさん：スタンプラリーは子どもたちが大好きだから、やってほしいです。
Cさん：コミセンのスタンプラリーにも親子で楽しく参加しました。年配の方たちもかなりいました。
Dさん：商店街でスタンプラリーとかやって人も来るんじゃない?車もあまり通らないし。
Aさん：子どもが自主的にお店を開く体験ができるものは、やりたいみたいです。
Cさん：以前はそういったものがあったのですが、引き継ぐ大人がいなくなってしまいました。それをリアルな店舗でできたら、いいかもしれません。

Q. お子さんが大きくなって、どのような街になっていたら良いと思いますか?

- Bさん：他の町と同じになっていってほしくないです。この街ならではの店が残ってほしい。
Cさん：地価が高いのでなかなか若い人たちが入ってこなくて、どんどん高齢化していくんだろうなという気はしています。いろんな世代の意見を取り入れていける環境が大切だと思います。

Q. 地域のイベントに参加する意義はなんだと思いますか?

- Cさん：値段が安くて子どもだけでも参加できるし、そうやって帰属意識が高まっていくような気がします。商店街にも子どもや若者の集まれる場所を作れば、お店手伝うとか次のお祭り手伝うとか、つながりが生まれると思います。そうした思い出がきっかけで、1度は大学や就職などで武蔵野を出ても、いつかこの地域へ帰ってきてくれたらいいですね。

武蔵野市はとても住み心地の良い町のように。しかし、もっと皆で協力や工夫をすることで、地元の商店や人々のつながりがさらに深まり多様な世代との交流も活発になりそうです。私たちも皆さんの声を今後のイベントなどに生かしていきたいと思っています。今回協力して下さった皆さま、ありがとうございました。

むさしの途中下車の旅 ～三谷通り編～

- 三谷通り商店街に新しくイメージロゴができたのを皆さんご存知ですか? 昨年、地域活性化・イメージアップをすべく、三谷通り商店会によりロゴマークの一般公募が行われました。応募作品の中から、実行委員会や商店会会員による選定に加え、七夕イベント『さんやわんや!』での市民投票も経て決まったのがこのデザイン案。
- 「三」は、三谷の道がブロック敷きの歩道とそれに挟まれた車道の様子を、そして「谷」は家並みを表しているそう... そうだったんですね!
- まだフラッグにしか用いられてないものの、今後、イベントやグッズなど幅広く使われるとのこと。

